

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想 構成案

基本方針：「スポーツを通じた元気な長野県づくり」の実現を目指して

※取組部分

実施目標		取組の方向	取組例
1 スポーツで長野県を元気にする大会	(1)	スポーツによる健康長寿 世界一信州の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・働く世代・高齢世代のスポーツの促進 ・ライフステージに応じたスポーツを通じた健康づくり ・家庭や職場で簡単にできるスポーツの普及 ・スポーツを通じた健康・体づくりプログラムの提供
	(2)	スポーツが旅の目的となる観光地・地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境など地域資源を活用したスポーツツーリズムの推進 ・スポーツのメッカづくり ・競技会・合宿の誘致促進 ・個人の来県者も気軽にスポーツ体験ができる仕組みづくり
2 スポーツの振興を支える好循環を創出する大会	(1)	地域で育む未来のアスリート	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団活動の充実・支援 ・総合型地域スポーツクラブの充実・支援 ・少年選手の計画的な発掘・育成・強化 ・県内有望選手の育成・強化の実施 ・県内で活動するプロスポーツ選手・アスリートとの交流機会の確保 ・学校スポーツ活動の充実・支援・地域との連携
	(2)	アスリートの人材確保	<ul style="list-style-type: none"> ・「競技力向上対策本部」による取組 ・選手の県内就職や競技活動を継続できる環境づくり ・企業等のアスリート雇用の理解を促進する取組
	(3)	障がい者スポーツ選手の発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・選手、指導者、スタッフの発掘・育成 ・競技団体の充実・強化 ・特別支援教育における選手育成等スポーツ活動の取組の推進 ・全国大会や国際大会出場を視野に入れた選手の育成・強化
	(4)	スポーツを支える人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティアの育成・登録・活動支援 ・スポーツ指導者の育成のためのプログラムづくり、活躍の場の拡大・充実 ・競技団体の基盤強化・充実 ・スポーツ推進委員の活動支援 ・学校スポーツ活動の充実・支援・地域との連携
3 スポーツで共生社会づくりを加速する大会	(1)	国スポ・全障スポの一体的な開催	<ul style="list-style-type: none"> ・両大会の準備・運営・会場の一体化 ・両大会の選手や関係者の交流の促進 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した大会運営 ・シニア・若者・女性・障がい者等が大会準備・運営等に参加しやすい環境づくり
	(2)	障がい者スポーツと一般スポーツの融合の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人もない人も一緒に出場して楽しめるスポーツ機会の拡大 ・一般スポーツ指導者と障がい者スポーツ指導者の活動の一体化 ・障がい者スポーツの普及、環境づくり ・パラリンピック代表選手との交流機会の確保 ・スポーツ推進委員の活動支援
	(3)	スポーツで多様性を尊重する共生社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのありなし、年齢・性別・国籍等にかかわらず、県民が気軽にスポーツに参加する機会や方策の拡大 ・障がいのありなしにかかわらずトップアスリートになる夢を子供たちが抱ける取組 ・障がい者スポーツの競技紹介、楽しみ方の情報提供 ・多様なスポーツに親しめる環境づくり

実施目標		取組の方向	取組例
4 スポーツの環境づくりを推進する大会	(1)	いつでも・どこでもスポーツに取り組める環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが気軽に参加できるスポーツ教室・スポーツイベントの開催 スポーツ少年団活動の充実・支援 総合型地域スポーツクラブの充実・支援 1県民1スポーツ運動の提唱 家庭や職場で簡単にできるスポーツの普及・促進 学校施設等身近な場所でスポーツができる環境づくり 多様なスポーツに親しめる環境づくり スポーツ推進委員の活動支援
	(2)	開催地実施競技種目の普及	<ul style="list-style-type: none"> 国スポ・全障スポ競技開催市町村での選手育成 国スポ・全障スポ競技会開催市町村での定期的な競技会の開催 国スポ・全障スポ競技開催市町村でのトップアスリートとの交流機会の確保
5 スポーツが長野県のファンを増やす大会	(1)	県民参加のおもてなし	<ul style="list-style-type: none"> 多くの県民が両大会に参加したくなる仕組みづくり 正式競技・公開競技・デモンストレーションスポーツ等の県下各地での実施 学校単位での競技会の観戦や県内外選手の応援 ごみゼロ運動・さわやかにもてなそう県民運動・花いっぱい運動などの県民運動の推進 障がいのありなし、年齢・性別・国籍等にかかわらず満足できるおもてなし
	(2)	大会を通じた長野県の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用したおもてなし 多彩な信州の魅力の県民による再発見 大会観戦ツアーなど参加者の県内周遊につながる情報発信 「移住したい県日本一」の積極的PR オリンピック・パラリンピック開催県としての魅力のPR 魅力あふれる文化プログラムの提供

実施目標達成のための共通姿勢	
視 点	取組例
1 SDGsを意識した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 大会開催の各取組と、SDGs 17の目標との関連付け
2 ゼロカーボンの推進	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの積極活用 電気自動車・燃料電池自動車の積極活用 公共交通機関の利用促進 カーボンオフセットの実施 エシカル消費・食品ロス削減の取組の推進
3 デジタル技術・AI・IoT・ロボットなど先端技術の活用による大会運営のDX	<ul style="list-style-type: none"> 最先端のデジタル技術等の最大限の活用 競技会や記録のLIVE配信 デジタル技術の活用における企業提案の募集
4 長野冬季オリンピック・パラリンピックのレガシーを活かし未来へつなぐ大会	<ul style="list-style-type: none"> 1校1県応援運動、1校1競技応援運動の推進 ボランティア活動の推進 大会を一過性のイベントとしない取組
5 安全・安心・持続可能な大会運営	<ul style="list-style-type: none"> アフターコロナを見据えた感染症対策など、リスクを想定した各種方針の策定 既存施設や設備を有効に活用した簡素で効率的な大会運営

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 開催基本構想の策定について

1 策定目的

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、大会の基本目標や主な取組の方向性を示すことにより、円滑に開催準備を進めるとともに、大会開催の気運の醸成を図る。

2 策定スケジュール（予定）

年月 (令和)	会 議 等	内 容	逆年	
3 年 度	5 月	第 7 回総務企画専門委員会	開催基本構想の策定の審議	開 催 7 年 前
	6 月	第 6 回常任委員会 第 5 回総会	開催基本構想の策定について (決定・報告)	
	9～ 12 月	総務企画専門委員会意見 照会（書面）	開催基本構想構成案の調整	
		意見照会の実施（市町村、競技団体等準備委員関係）		
	1～ 3 月	第 8 回総務企画専門委員会	開催基本構想構成案の審議	
	第 7 回常任委員会	開催基本構想構成案の報告		
4 年 度	4～ 6 月	総務企画専門委員会意見 照会（書面）	開催基本構想原案の調整	6 年 前
		意見照会の実施（市町村、競技団体等準備委員関係）		
	7～ 9 月	第 9 回総務企画専門委員会	開催基本構想原案の審議	
		第 8 回常任委員会 第 6 回総会	開催基本構想原案の報告	
	10～ 12 月	第 10 回総務企画専門委員会	開催基本構想（案）の調整・ 審議	
		意見照会の実施（市町村、競技団体等準備委員関係）		
		パブリックコメントの実施		
1～ 3 月	第 11 回総務企画専門委員会	開催基本構想（案）の審議		
	第 9 回常任委員会	開催基本構想の決定		
5 年 度	4～ 6 月	第 10 回常任委員会 第 7 回総会	開催基本構想（印刷物）の報告	5 年 前